

インバウンドの「変化の兆し」をいち早く 都道府県別訪日外客数と訪問率

月次指標の早期推計：10月レポート

稲田義久（APIR 研究統括兼数量経済分析センター長）
松林洋一（APIR 主席研究員）
野村亮輔（研究推進部）
内容に関するお問い合わせは下記まで
e-mail:nomura-r@apir.or.jp

ポイント

● 11月発表データのレビュー：JNTO 訪日外客数

▶ JNTO 訪日外客数(推計値)によれば(図1及び表1)、**10月総数は27,400人(前年同月比-98.9%)**で、**13カ月連続のマイナス**。10月から一定条件の下、ビジネス等に限って全ての国・地域からの新規入国が可能となったため、2カ月連続で**1万人を超える水準**となった。

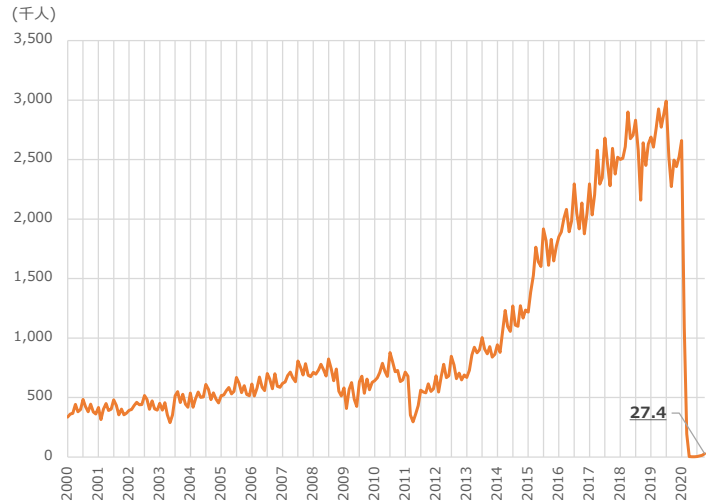
▶ 国・地域別のトップ5は、ベトナムが6,200人、中国が4,500人、韓国が2,000人、タイが1,400人、台湾が1,300人であった。**伸び率はベトナム(前年同月比-86.7%)を除いて、いずれも90%超のマイナス**となっており、**訪日外客の動向は依然厳しい状況**である。

▶ 東アジアの前年比伸び率をみると中国、台湾、香港は9カ月連続、韓国は16カ月連続のマイナス。日本政府は11月以降、中国、韓国やベトナムなど9カ国・地域からの入国制限をビジネス目的などに限定して緩和した。また、ベトナムとの「ビジネスラック」も開始されることから、**今後ビジネス目的を中心に訪日外客数の増加が見込まれ**よう。しかし、入国者数の制限や防疫措置が引き続きとられており、**観光目的での往来は引き続き制限**されていることから、**訪日外客の大幅増加は期待しづらい**。

▶ JNTO 訪日外客数(暫定値)を目的別にみれば(図2及び表2)、**8月総数は8,658人(前年同月比-99.7%)**となった。うち目的別にみれば、**観光客は482人(同-100.0%)**、**商用客は702人(同-99.4%)**、**その他客は7,474人(同-96.3%)**であった。伸び率を見れば、観光客、商用客は11カ月連続、その他客は7カ月連続といずれもマイナス。8月から再入国許可保持者の再入国を一部認めたこともあり、商用客(241人)や留学目的などのその他客(3,123人)が前月から増加した。

▶ 目的別の国・地域別のトップ5は、**観光客**では米国が140人、中国が74人、フランスが29人、台湾、韓国がいずれも23人であった。**商用客**ではタイが155人、中国が152人、韓国が57人、米国が40人、台湾が39人であった。**その他客**では、中国が1,380人、ベトナムが1,104人、韓国が669人、米国が518人、台湾が386人であった。いずれの目的も前年比-90%超の減少だが、**ビジネスや留学に限ると、一部の国・地域からの入国が緩和**されつつあるため、**商用客及びその他客は幾分増加が見込まれよう**。

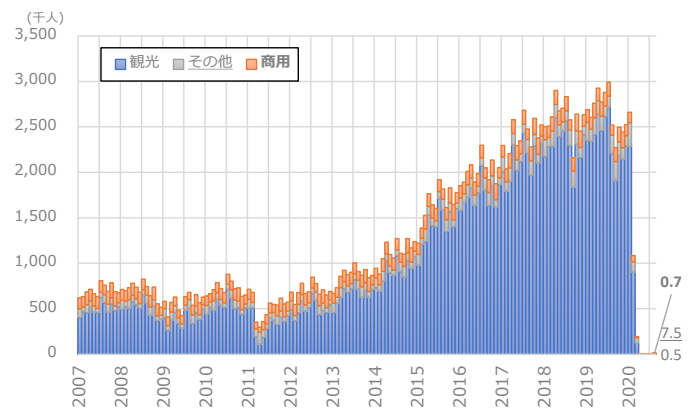
図1 訪日外客数推移



出所:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成

注) 2019年:確定値、20年1~8月:暫定値、20年10月:推計値

図2 目的別訪日外客数推移



出所:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成

注) 「観光客」とは、短期滞在の入国者から「商用客」を引いた入国外国人で、親族友人訪問を含んでいる。「その他客」とは、観光、商用目的を除く入国外国人で、留学、研修、外交・公用などが含まれる。

*本レポートで使用している観光庁「訪日外国人消費動向調査」の統計調査が現在行われていないため、今月より内容を一部変更していることにご留意頂きたい。

トピックス 1

● 10月関西の財貨・サービス貿易の動向

▶ 10月の関西国際空港(以下、関空)への訪日外客数は**5,381人**で、伸びは前年同月比-99.2%大幅減少し、9カ月連続のマイナス。(図3及び図4)。10月より中長期の在留資格をもつ外国人の新規入国が緩和されたこともあり、前月(2,467人)から増加した。11月以降、感染症危険情報がレベル2へと引き下げられた国・地域もあり、入国者数の増加が幾分見込まれよう。

一方、日本人出国者数は3,086人で同-99.0%と10カ月連続で減少した。

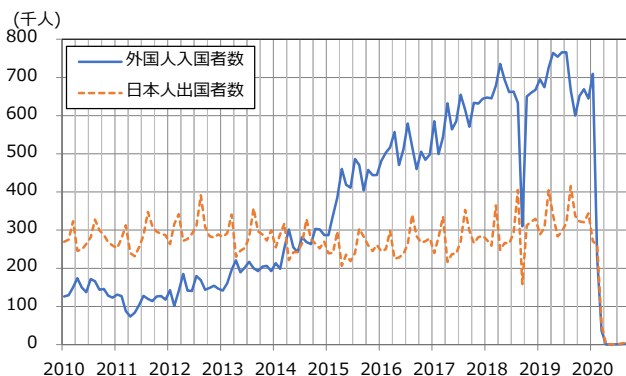
▶ 関空への訪日外客数減少によるインバウンド需要の損失額を試算してみる。2019年の2府8県の外国人消費額(確報ベース)は1兆2,127億円であるため(APIR推計)、20年10月の損失額は1,002億円(=12,127/12×関空への訪日外客数の減少率)と推計される。**結果、2-10月期インバウンド需要の損失合計は8,685億円となる。**

▶ 図4は関空訪日外客入国者数の動態をリーマンショック期、東日本大震災期と今回の3つの時期で比較したものである。COVID-19の影響は長期に及ぶため、しばらく厳しい状況が続こう。10月はビジネスや留学目的の外国人を対象に限定的ではあるが、日本への新規入国が全面緩和された。政府は11月以降、更なる入国緩和を検討しているが、**観光目的の入国は依然として厳しく規制されているため、訪日外客の急回復は期待しづらい。**

▶ 関西10月の輸出総額の伸びは好調な対中輸出の影響もあり、**8カ月ぶりのプラス**(前年同月比+2.3%)に転じた(前月:同-5.7%)。一方、輸入総額は同-9.0%減少し、13カ月連続のマイナス(前月:同-12.6%)。結果、**関西の貿易収支は3,321億円と9カ月連続の黒字**となり、黒字幅は前年同月比+74.2%拡大した。また、貿易総額(輸出入合計)は同-2.9%減少したが、マイナス幅は8月から3カ月連続で縮小している(図5)。

▶ 対中貿易動向をみると(図6)、関西10月の**対中輸出額は前年同月比+11.7%増加し5カ月連続のプラス**。中国経済が回復しつつあることから伸びは2カ月連続の二桁増となった(前月:同+12.9%)。一方、対中輸入額は同-6.2%減少し4カ月連続のマイナス。輸出増に寄与した品目はプラスチック、半導体等製造装置で、輸入減に寄与した品目は通信機、衣類及び同附属品であった。

図3 関西国際空港 訪日外客入国者数推移



2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020
出所:出入国管理統計より筆者作成。2020年10月値は速報値(図6も同様)。

図4 経済ショックからの回復の比較

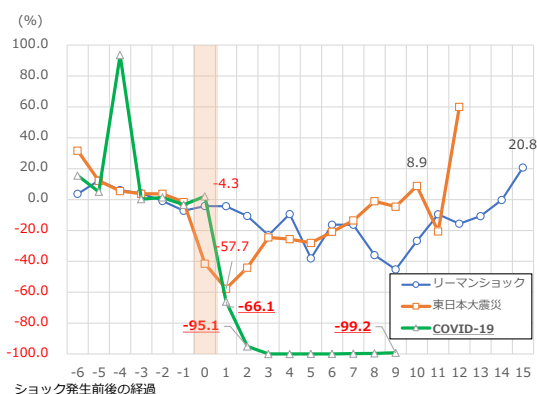


図5 関西 対世界貿易の推移

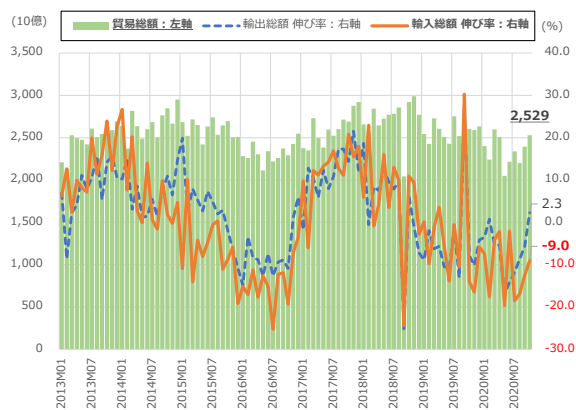
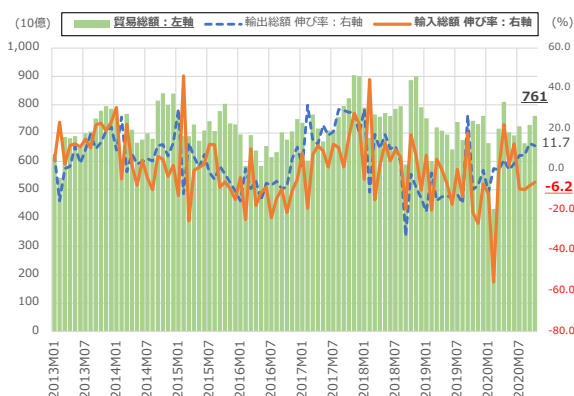


図6 関西 対中貿易の推移



出所:「大阪税関貿易速報資料:近畿圏」より筆者作成

トピックス 2

●8月 延べ宿泊者数の動向：関西 2府8県

▶8月の関西 2府8県の延べ宿泊者数(全体)は7カ月連続の前年同月比マイナス(同-63.3%)。COVID-19の感染再拡大の影響もあり、マイナス幅は前月(同-64.7%)より小幅縮小にとどまった。

▶うち日本人延べ宿泊者数をみれば、4,628.7千人泊となり8カ月連続の前年同月比マイナス(同-53.2%) (図7)。府県別に延べ宿泊者数が多い順でみれば、大阪府が950.5千人泊(同-68.8%)、兵庫県が883.7千人泊(同-41.9%)、京都府が835.2千人泊(同-50.2%)、三重県が486.3千人泊(同-50.9%)、和歌山県が411.6千人泊(同-35.3%)、滋賀県が295.8千人泊(同-51.2%)、福井県が261.7千人泊(同-54.0%)、鳥取県が188.6千人泊(同-39.7%)、徳島県が159.5千人泊(同-42.3%)、奈良県が155.7千人泊(同-36.5%)であった(図8)。京都府、奈良県、和歌山県、鳥取県は前月よりマイナス幅が縮小したが、それ以外の府県は前月よりマイナス幅が拡大した。

▶うち外国人延べ宿泊者数をみれば、41.8千人泊となり7カ月連続の前年同月比マイナス(同-98.5%) (図9)。府県別に多い順でみれば、大阪府が17.6千人泊(同-98.8%)、三重県が8.6千人泊(同-75.6%)、京都府が6.0千人泊(同-99.4%)、兵庫県が4.0千人泊(同-96.0%)、和歌山県が1.3千人泊(同-97.4%)、滋賀県が1.2千人泊(同-95.5%)、福井県が1.0千人泊(同-83.9%)、奈良県が0.9千人泊(同-98.3%)、鳥取県が0.9千人泊(同-93.0%)、徳島県が0.2千人泊(同-98.1%)であった(図10)。訪日外客の入国制限が続いており、各府県で大幅な減少が続いている。

▶8月の延べ宿泊者数(関西 2府8県ベース)の減少幅から(関西の)国内旅行消費額の損失額を推計すると、約1,830億円となる(=4.1兆円/12 × 関西の延べ宿泊者数の当月の減少率)。結果、3-8月期の損失額は約1.3兆円となる。また、9月速報値を考慮した延べ宿泊者数(全国ベース)の減少幅から(全国の)国内旅行消費額の損失額を計算すると、約6,840億円となる(=21.9兆円/12 × 全国の延べ宿泊者数の当月の減少率)。結果、3-9月期の損失額合計は約7.3兆円となる。

図7 関西 日本人宿泊者数の推移

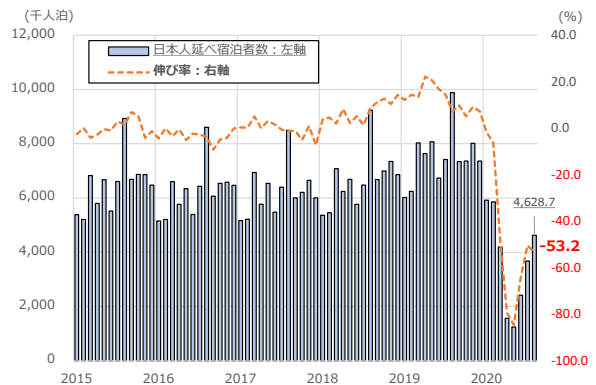


図8 府県別日本人延べ宿泊者数 推移

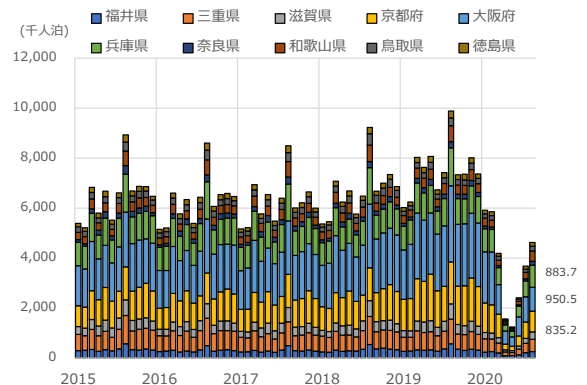


図9 関西 外国人宿泊者数の推移

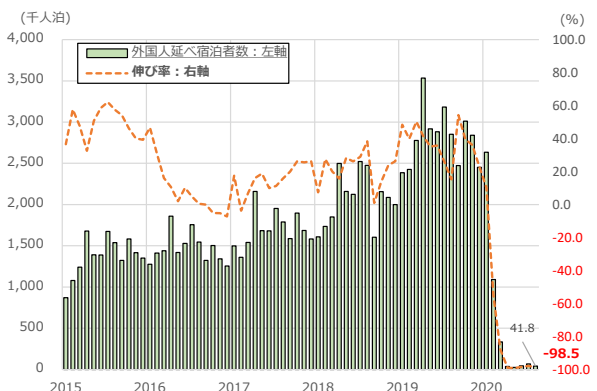
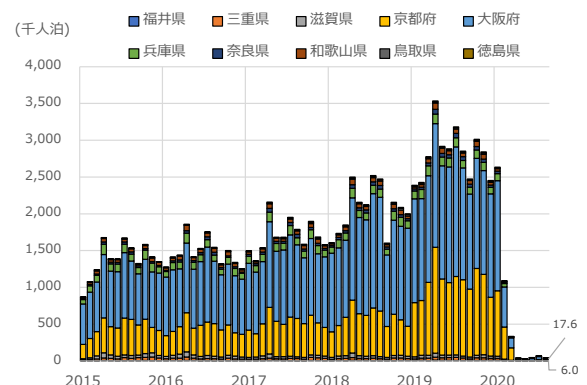


図10 府県別外国人延べ宿泊者数 推移



出所：観光庁「宿泊旅行統計調査」より筆者作成(図7~10)

表1 2020年10月訪日外客数 (JNTO 推計値)

国・地域	総数 Total			総数 Total		
	2019年	2020年	伸率(%)	2019年	2020年	伸率(%)
	10月	10月		1-10月	1-10月	
総数	2,496,568	27,400	-98.9	26,914,388	4,000,500	-85.1
総数(韓国・その他除く)	2,147,181	18,830	-99.1	20,679,032	3,332,020	-83.9
韓国	197,281	2,000	-99.0	5,131,596	482,300	-90.6
中国	730,631	4,500	-99.4	8,133,209	1,032,800	-87.3
台湾	413,701	1,300	-99.7	4,150,231	692,400	-83.3
香港	180,562	200	-99.9	1,841,448	345,300	-81.2
タイ	145,333	1,400	-99.0	1,013,776	218,100	-78.5
シンガポール	41,937	100	-99.8	326,581	55,000	-83.2
マレーシア	48,864	600	-98.8	358,355	75,800	-78.8
インドネシア	34,094	700	-97.9	316,363	71,000	-77.6
フィリピン	64,690	400	-99.4	466,809	105,000	-77.5
ベトナム	46,510	6,200	-86.7	422,553	122,200	-71.1
インド	13,929	700	-95.0	149,294	24,300	-83.7
豪州	51,563	200	-99.6	500,791	143,100	-71.4
米国	153,363	900	-99.4	1,430,370	216,800	-84.8
カナダ	37,667	100	-99.7	306,814	53,000	-82.7
メキシコ	7,385	30	-99.6	58,752	9,420	-84.0
英国	68,401	300	-99.6	358,820	50,400	-86.0
フランス	39,457	400	-99.0	291,782	42,100	-85.6
ドイツ	26,276	300	-98.9	203,380	29,200	-85.6
イタリア	14,731	100	-99.3	139,223	13,400	-90.4
ロシア	14,348	300	-97.9	98,068	21,200	-78.4
スペイン	13,739	100	-99.3	112,413	11,500	-89.8
中東地域	11,955	200	-98.3	79,770	7,600	-90.5
その他	140,151	6,370	-95.5	1,023,990	178,580	-82.6

表2 2020年8月目的別訪日外客数 (JNTO 暫定値)

国・地域	総数 Total			観光客 Tourism			商用客 Business			その他客 Others		
	2019年	2020年	伸率(%)	2019年	2020年	伸率(%)	2019年	2020年	伸率(%)	2019年	2020年	伸率(%)
	8月	8月		8月	8月		8月	8月		8月		
総数	2,520,134	8,658	-99.7	2,206,746	482	-100	113,052	702	-99.4	200,336	7,474	-96.3
韓国	308,730	749	-99.8	262,847	23	-100	18,866	57	-99.7	27,017	669	-97.5
中国	1,000,639	1,606	-99.8	909,161	74	-100	27,069	152	-99.4	64,409	1,380	-97.9
台湾	420,279	448	-99.9	401,901	23	-100	8,278	39	-99.5	10,100	386	-96.2
香港	190,260	41	-100	186,357	1	-100	2,398	9	-99.6	1,505	31	-97.9
タイ	49,589	350	-99.3	43,631	7	-100	2,444	155	-93.7	3,514	188	-94.6
シンガポール	19,698	21	-99.9	16,930	3	-100	2,132	1	-100	636	17	-97.3
マレーシア	19,827	223	-98.9	16,173	1	-100	1,790	2	-99.9	1,864	220	-88.2
インドネシア	16,160	230	-98.6	9,056	7	-99.9	2,055	1	-100	5,049	222	-95.6
フィリピン	31,470	132	-99.6	22,733	13	-99.9	1,771	1	-99.9	6,966	118	-98.3
ベトナム	43,709	1,122	-97.4	11,989	6	-99.9	2,894	12	-99.6	28,826	1,104	-96.2
インド	13,308	278	-97.9	4,424	6	-99.9	4,161	10	-99.8	4,723	262	-94.5
豪州	26,951	90	-99.7	23,059	3	-100	2,224	5	-99.8	1,668	82	-95.1
米国	117,828	698	-99.4	93,681	140	-99.9	13,233	40	-99.7	10,914	518	-95.3
カナダ	27,568	81	-99.7	24,504	22	-99.9	1,192	4	-99.7	1,872	55	-97.1
メキシコ	4,800	7	-99.9	4,261	2	-100	242	0	-100	297	5	-98.3
英国	26,213	150	-99.4	19,895	19	-99.9	3,237	5	-99.8	3,081	126	-95.9
フランス	30,851	226	-99.3	26,231	29	-99.9	1,813	13	-99.3	2,807	184	-93.4
ドイツ	17,264	112	-99.4	12,767	12	-99.9	2,962	14	-99.5	1,535	86	-94.4
イタリア	22,804	51	-99.8	21,176	11	-99.9	857	7	-99.2	771	33	-95.7
ロシア	8,321	62	-99.3	5,976	1	-100	1,319	7	-99.5	1,026	54	-94.7
スペイン	20,009	46	-99.8	19,029	1	-100	432	8	-98.1	548	37	-93.2
中東地域	6,254	69	-98.9	4,902	1	-100	669	6	-99.1	683	62	-90.9
その他	97,602	1,866	-100.0	66,063	77	-100.0	11,014	154	-100.0	20,525	1,635	-99.9

出所: 日本政府観光局(JNTO)、2020年11月18日付より筆者加工

注) 目的別訪日外客数の定義については、図2注参照。